

事務事業評価シート(事後評価)

事業コード 7-3-4	事務事業名 安全安心農業推進事業補助金	所管部課 生活文化スポーツ部産業振興課
----------------	------------------------	------------------------

事務事業の概要	事務事業の目的	根拠法令等
	西東京市が農業者の堆肥等の購入に係る費用の一部を補助することにより、農地の土壌の生態系を保持し、安全で安心な農産物の生産を重視した農業を推進することで市民の農業への理解を深めるとともに、西東京市における農業の育成及び振興を図る。	<input type="checkbox"/> 法律 <input type="checkbox"/> 条例・規則 <input type="checkbox"/> 政令・省令 <input checked="" type="checkbox"/> 要綱・要領
	事業内容・実施方法等／補助の概要：補助団体の概要（団体名・団体の活動内容・補助金の活用内容等）、補助金の概要（国・都基準の有無・対象者拡大の有無・上乗せ補助額・市単独補助額）等 ※該当する予算事業名・節目を明記する 市内の農業者に対し、堆肥、有機質肥料及びフェロモン剤の購入に係る費用の一部を補助する。 堆肥、有機質肥料及びフェロモン剤（容器を含む。）を購入した費用の2分の1に相当する額（それぞれ3万円を限度とする。ただし、認定農業者については、堆肥及び有機質肥料の購入に係る費用の限度を6万円とする。）。 （予算事業名 06.01.03.03多様な農業経営支援事業費（安全安心農業推進事業補助金））	
事業開始時期	平成13 年度	実施形態 <input type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 委託 <input checked="" type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> その他 ( )

事業費データ	項目	単位	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
	事業費(A)			5,040	5,267	4,672
財源内訳	国庫支出金・都支出金	千円				
	地方債					
	その他 ( )					
	一般財源		5,040	5,267	4,672	7,000
	所要人員(B)	人	0.15	0.15	0.15	0.15
	人件費(C)=平均給与×(B)	千円	1,225	1,155	1,190	1,232
	臨時職員賃金等(C')	千円				
	総コスト(D)=(A)+(C)+(C')	千円	6,265	6,422	5,862	8,232
	単位当たりコスト					
	(E)=(D)/ ( 延べ申請者数 )	千円	32	33	36	

評価指標の設定	活動等指標		単位	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
	① 延べ申請者数	実績値	人	193	194	162	
②	実績値						
《指標の説明・数値変化の理由 など》 平成25年度は、申請者数、補助金支出額とも若干下がったが、農業者のニーズは高い補助金である。							
評価指標の設定	成果指標		単位	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
	一次 延べ認定農業者申請者数	目標値	人	70	70	70	80
		実績値	人	71	74	63	
	二次	目標値					
実績値							
《指標の説明・数値変化の理由 など》 農業者・農地が減少が続いている中、認定農業者は市内農業の中核を担い、農業の振興に大きな役割を果たしている。認定農業者が本事業を活用し、安全安心な農産物の生産を推進することにより、市内農業の振興につながる。							

事業環境等	市民・関連団体等の意見（アンケート結果など）	農業者アンケートでも助成金、融資等資金的支援への要望は高い。農業団体からは、害虫捕獲粘着紙の購入に係る費用等、助成範囲の拡充を求める要望がある。	
	都内26市のサービス水準との比較（平均値、本市の順位など）	<input type="checkbox"/> 上 <input checked="" type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 下	都内26市中14市で同種の補助金制度を設けている。 平成25年度に補助を実施している市の平均実績額 1,849千円
	代替・類似サービスの有無	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	代替・類似サービスはない。

**【一次評価】**

検証項目		ランク	一次評価	○検証項目、評価の判断理由 ○事業実施上の課題や今後改善すべき点等
A	事業の優先度(緊急性)	3	継続実施	安全で安心な農産物の供給については、市民のニーズも高く、農業者の販売促進にもつながるものである。 また、近隣市でも、同種の補助制度を設けている状況であること、また、農業者からの意見などからも、農業経営における支援策として有効性は高く、農業の振興に寄与していると判断できる。 そのため、引き続き農業者に対し、本事業のPRをより一層行い、補助制度の活用を促すとともに、市民に対しても本事業に関する周知を行い、西東京市の安全安心農業への理解を深めることで、農業の振興を図っていく。
	事業の必要性	2		
	事業主体の妥当性	3		
B	直接のサービスの相手方	2		
	事業内容等の適切さ	2		
	受益者負担の適切さ	3		
C	市民ニーズの把握	2		

検証項目の見方 A:事業実施の意義を検証する項目 B:事業の内容・実施方法を検証する項目 C:市民ニーズの反映度を検証する項目

**【二次評価】**

検証項目		ランク	二次評価	○検証項目、評価の判断理由 ○事業実施上の課題や今後改善すべき点等
A	事業の優先度(緊急性)	2	改善・見直し	放置しておく、安価な農薬を使用した農産物が出回る可能性があるが、堆肥、有機質肥料及びフェロモン剤の購入に係る費用の2分の1の額を補助することにより、農地の生態系を保持し、安全で安心な農産物の普及促進につながる事業として評価できるものである。 農業者・農地が減少を続けている中、認定農業者は市内に48人おり、その内の約7割の認定農業者がこの補助金を活用し、予算執行率も7割弱の状況となっている。 今後はさらに認定農業者のみならず全農家にこの事業の重要性を周知し、地場産有機野菜の普及促進を図っていく必要がある。 また、西東京市産農産物等活用推進事業と連携して安全安心な地場産有機野菜を市民に周知していく必要がある。
	事業の必要性	2		
	事業主体の妥当性	2		
B	直接のサービスの相手方	1		
	事業内容等の適切さ	2		
	受益者負担の適切さ	3		
C	市民ニーズの把握	2		

検証項目の見方 A:事業実施の意義を検証する項目 B:事業の内容・実施方法を検証する項目 C:市民ニーズの反映度を検証する項目

**【外部評価】**

外部評価	評価の判断理由及び事業実施上の課題や今後改善すべき点等
対象外	

**【行革本部評価】**

行革本部評価	評価の判断理由及び事業実施上の課題や今後改善すべき点等
改善・見直し	本事業は、農地の生態系を保持し、安全で安心な農産物の普及促進につながるものであり、そのことについては評価できるところである。 今後については、安全安心農業の普及促進のため、全農業者に対し、本事業の重要性を周知するとともに、西東京市産農産物等活用推進事業等と連携し、本事業を活用し生産された安全安心な地場産農産物を市民に広報するなど、より効果的な事業となるよう見直しを図られたい。

**【改善の方向性・スケジュールと改善実施にあたっての課題】**

改善の方向性・スケジュール	行革本部評価結果を踏まえ、より一層の農業者への制度周知を図るとともに、市民に対し安全安心な市内産農産物の周知をJA等と連携して行う。 平成27年度:補助制度の検証。市報、即売イベント等を活用した市民への周知。 平成28年度:検証結果に基づく農業者へのヒアリング等の実施。
---------------	---